学校番号	３２２

令和８年度　社会科

教科	地理歴史	科目	地域課題探究	単位数	２単位	年次	２年次（普通科）
使用教科書	使用しない						
副教材等	適宜新聞などを使用						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自らの進路を切り拓くことができる人材の育成をめざし、地域の魅力・課題を地域と連携しながら発見・探究する。
それらを主体的に発信することを通して、資質能力（論理的思考力、判断力、表現力、豊かな感性、コミュニケーション能力、発信力、多角的多面的に考察する力）の向上をめざす。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・地域の諸課題について、考察し、正しい知識を身につけることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・資料や発表を通じて課題の要因を分析することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・発信する経験を通して、学び続ける姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の社会的事象や地域に起きる事象と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	地域社会の課題の中から１つ選び、社会的本質について広い視野に立って考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ、公正に判断してその過程や結果を適切に表現、発表している。	地域に関する様々な課題について、政治的経済的な関心と課題意識を高め、意欲的に追及している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地域の現状課題を知る	・対話を通じたグループワーク ・「歴史文化」、「防災」「高齢者・障がい者」「子育て」の４つのキーワードについて学ぶ ・各テーマで個人発表	a:地域の諸課題の解決に向けて探究する手掛かりとなる概念や理論について理解することができている。 b:地域社会の一員として必要な選択・判断の基準となる考え方や理論を活用することができている。 c:よりよい地域社会の実現のために地域の諸課題を主体的に解決しようとする姿勢がある。	小テスト レポート	レポート	提出ノート
2学期	地域課題の理解を深める	・対話を通じたグループワーク ・「歴史文化」、「防災」「高齢者・障がい者」「子育て」の４つのキーワードについて、フィールドワークや大学教授や関係者による講演会を通して理解を深める。 ・各テーマから選定し、グループ発表。	a:地域の諸課題の解決に向けて探究する手掛かりとなる概念や理論について理解することができている。 b:地域社会の一員として必要な選択・判断の基準となる考え方や理論を活用することができている。 c:よりよい地域社会の実現のために地域の諸課題を主体的に解決しようとする姿勢がある。	小テスト レポート	レポート	提出ノート
3学期	地域課題を発信する	・対話を通じたグループワーク ・「歴史文化」、「防災」「高齢者・障がい者」「子育て」の４つのキーワードについて市役所や中学校に発信 ・記念誌作成	a:地域の諸課題の解決に向けて探究する手掛かりとなる概念や理論について理解することができている。 b:地域社会の一員として必要な選択・判断の基準となる考え方や理論を活用することができている。 c:よりよい地域社会の実現のために地域の諸課題を主体的に解決しようとする姿勢がある。	小テスト レポート	レポート	提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度